

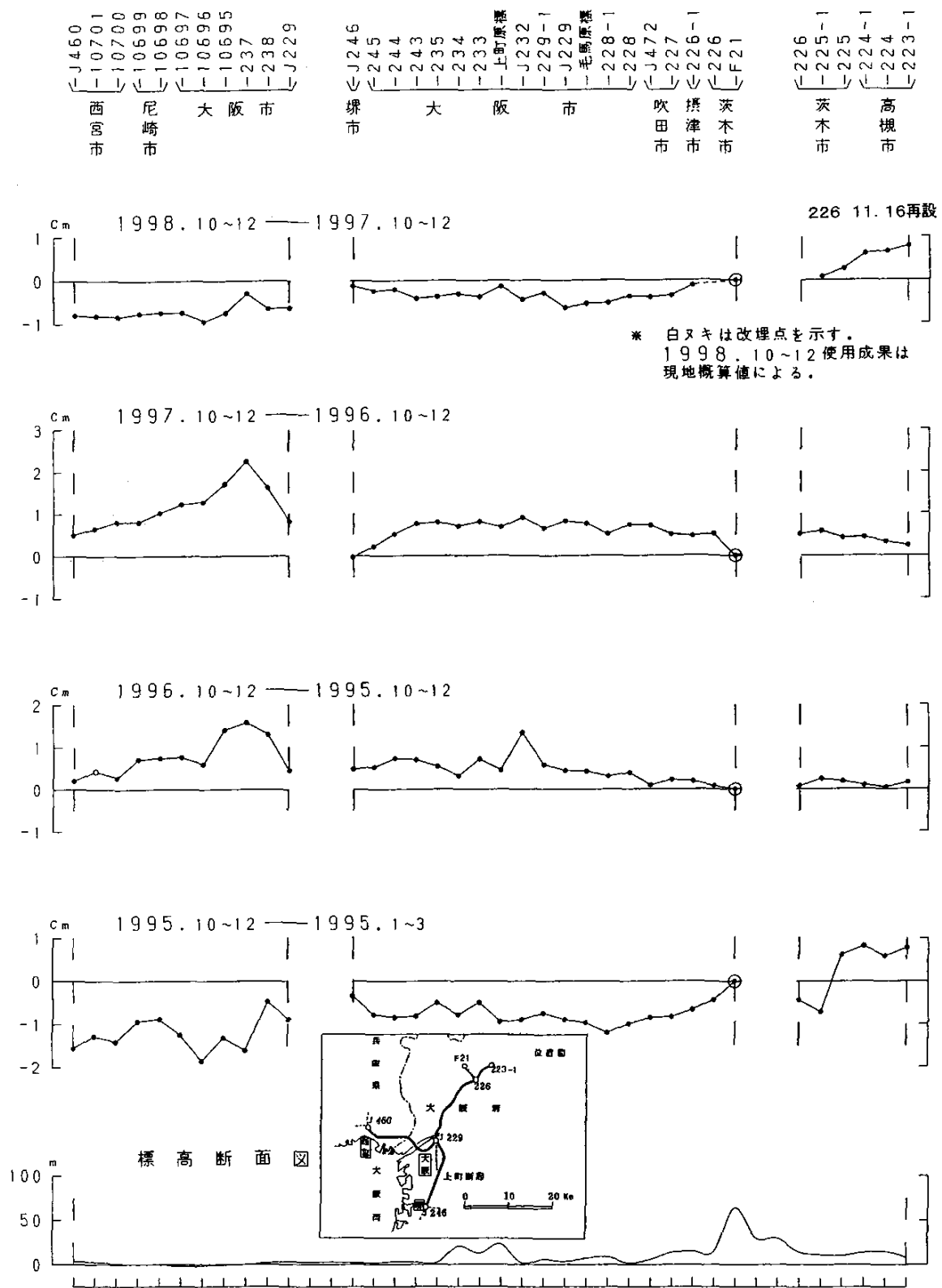
7－6 近畿地方の地殻変動

Crustal Movements in the Kinki District

国 土 地 理 院
Geographical Survey Institute

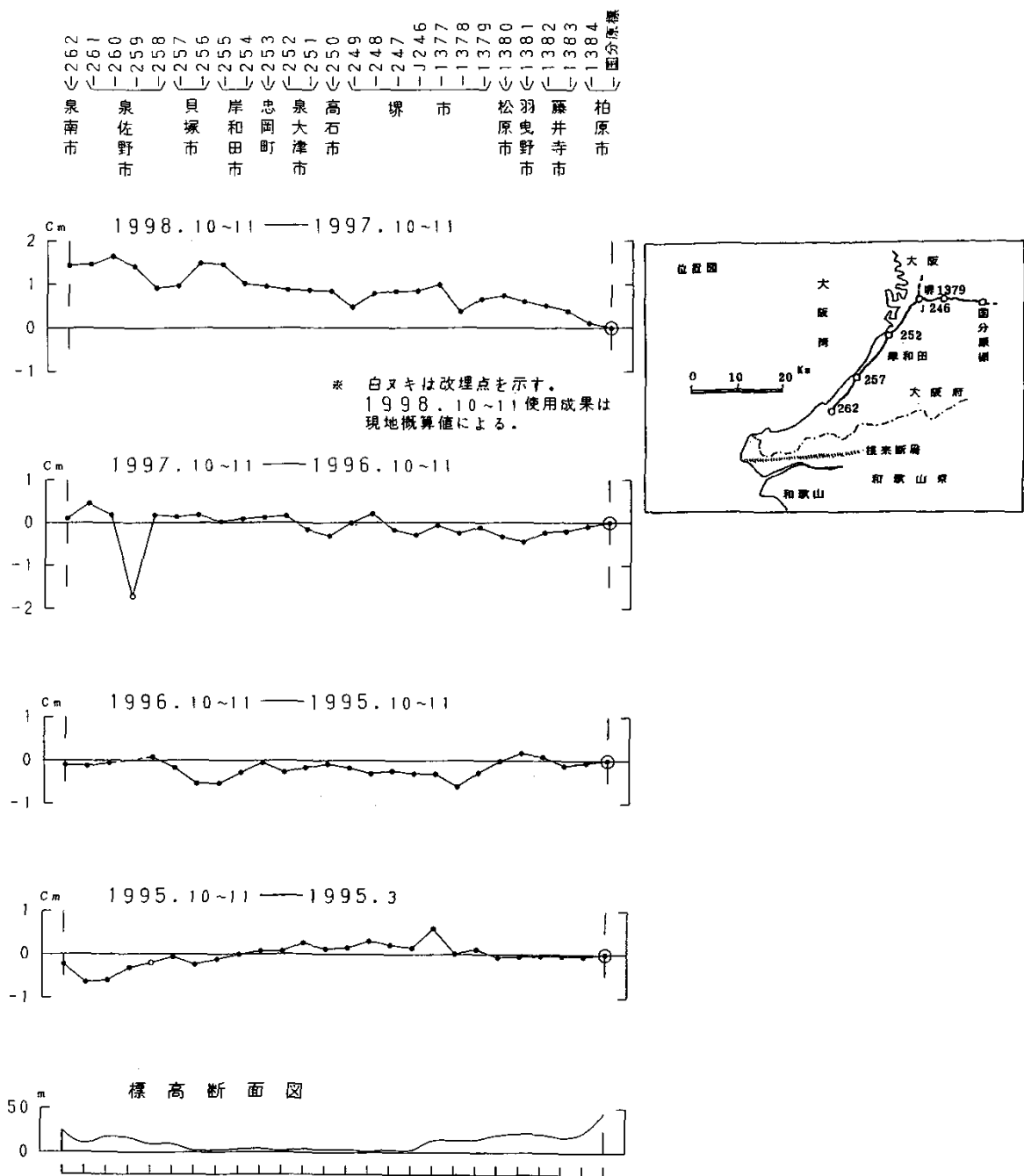
第1図は、大阪周辺の水準測量の結果である。ここ数年大きな変化が見られなかった大阪市から泉南市にかけての路線で、和歌山側が約 1.5cm 隆起したことを示す結果が得られている。なお、前回までの観測においては、大阪市の 10695 周辺で隆起が見られたが、今回の観測ではそれが見られない。いずれにしても、大きな変化の傾向は見られない。

第2図は、三角測量、三辺測量およびGPSによる測量の比較により求めた京都及び奈良地方の水平地殻歪みである。最近の約 15 年間では、蓄積した歪みの大きさは $1 \sim 4 \times 10^{-6}$ 程度であり、軸の方向については（西）北西－（東）南東方向の短縮とそれに直行する方向の伸張が大勢を占めている（第2図(2)）。この 20 年間では、 $2 \sim 6 \times 10^{-6}$ 程度であり、北西南東方向の短縮の傾向がより顕著となる（第2図(3)）。明治時代の成果と比較した約 100 年間の歪みの蓄積は $10 \sim 20 \times 10^{-6}$ 程度であり、西北西－東南東方向の短縮の傾向が、さらに顕著である。



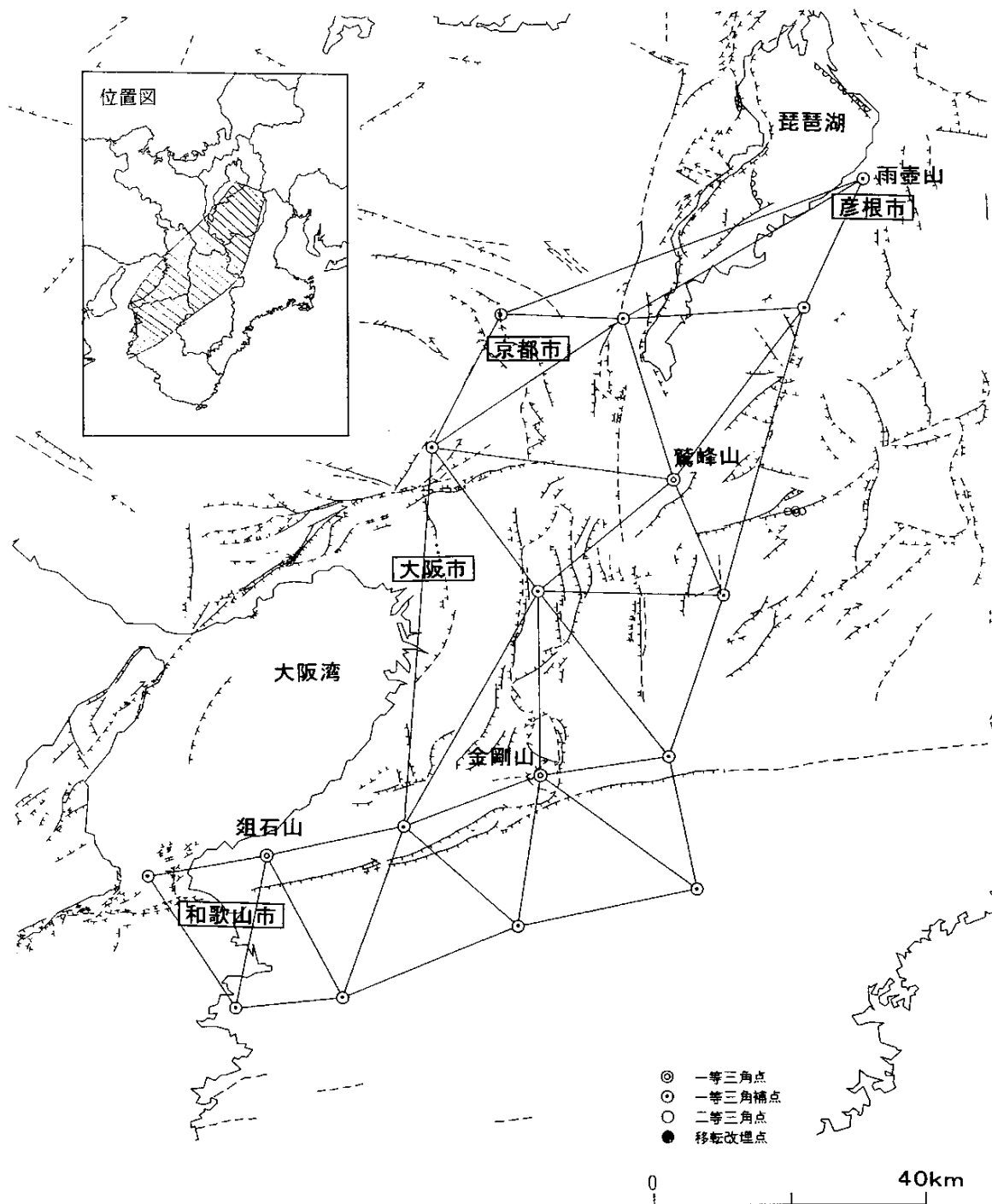
第1図(1) 大阪周辺の上下変動(1)

Fig.1(1) Results of precise leveling in Osaka and the vicinity(1).



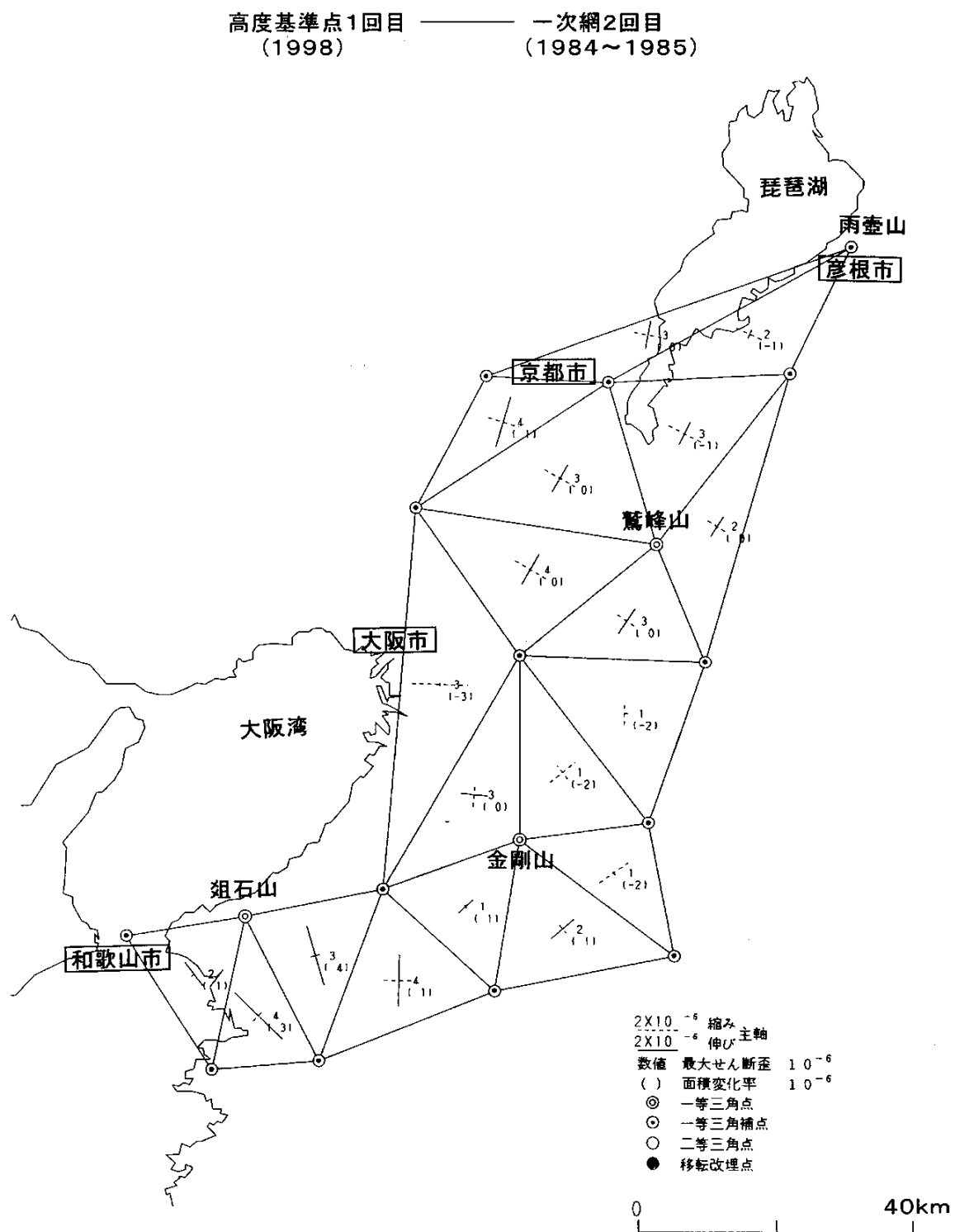
第1図(2) 大阪周辺の上下変動(2)

Fig.1(2) Results of precise leveling in Osaka and the vicinity(2).



第2図(1) 京都及び奈良地方の水平地殻歪み (1)

Fig.2(1) Horizontal crustal deformations in the Kyoto and Nara districts (1) .



第2図(2) 京都及び奈良地方の水平地殻歪み (2)

Fig.2(2) Horizontal crustal deformations in the Kyoto and Nara districts (2) .

琵琶湖

雨壺山

彦根市

京都市

鷲峰山

大阪市

大阪湾

組石山

和歌山市

金剛山

40km

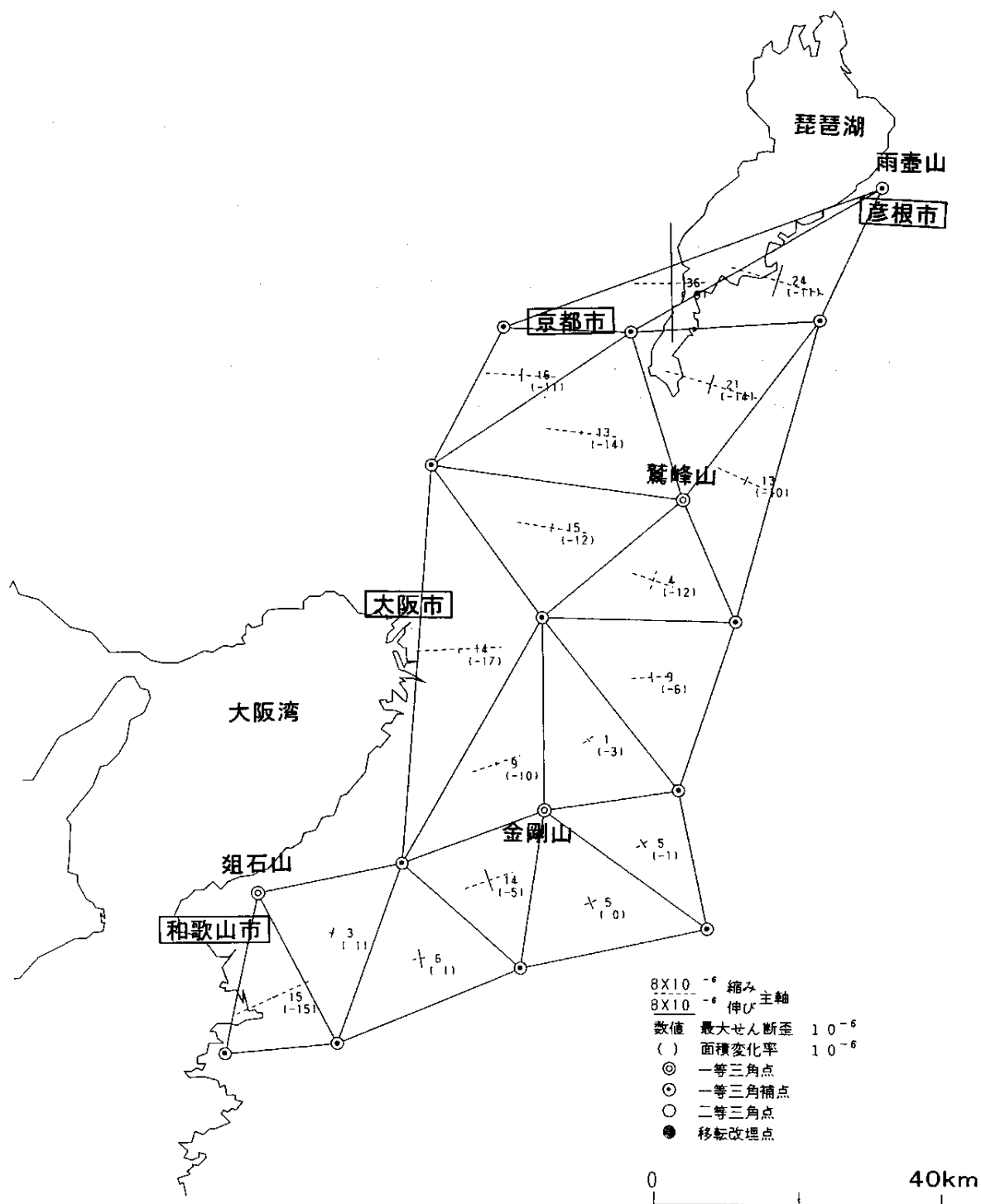
縮み
主軸
伸び
数値
最大せん断歪
面積変化率
()
一等三角点
一等三角補点
二等三角点
移転改埋点

4×10^{-6}
 4×10^{-6}
数値
()
①
②
③
●

最大せん断歪 10^{-6}
面積変化率 10^{-6}

—402—

高度基準点1回目 ———— 明治
(1998) (1884~1903)



第2図(4) 京都及び奈良地方の水平地殻歪み (4)

Fig.2(4) Horizontal crustal deformations in the Kyoto and Nara districts (4) .